

グローバル・サイエンス・フォーラム

「現場で必要となる力は何か？ —理系産業人になるために—」

学生が次代を担うグローバル人材として成長するには、大学で身につけた専門性を、いかに卒業後の進路に活かすのか等の課題があります。今回のフォーラムでは、主に理系を専門とする学生を対象に、自らの将来のキャリアにとって、専門性のみならず、英語力・異文化受容能力を向上させることの意味について考えます。

パネルディスカッションでは、これらを踏まえ、理系学部学生が具体的な目標や「なりたい人物像」を考えるために、各先輩がどのような学生生活を送り、卒業後のキャリアを考えたのか、今現場で必要とされている力は何か等、現役学生からの素朴な質問に答えながら、学生がどのような大学生生活を送り、成長すればよいのか参加した学生・関係者で対話します。

参加費無料

**申込要
(当日参加可)**

日時

平成26年3月8日(土)
13時～15時30分(受付は12時より)

場所

京都産業大学 神山ホール第一セミナー室

基調講演

天野 麻理

理化学研究所研究員(免疫転写制御グループ)

京都産業大学理学部物理学科卒業後、大学院工学研究科生物工学専攻に進学。平成15年3月博士号取得。その後アメリカカリフォルニア大学及びハーワードヒューズ医学研究所へ留学。アメリカ糖質学会トラベルアワード受賞。日立製作所倉田奨励金受賞。京都産業大学特約講師を経て、現在 理化学研究所研究員(免疫転写制御グループ)。第13回国際ランゲルハンス細胞会議ポスター賞受賞。

パネルディスカッション

- 【パネラー】 天野 麻理 理化学研究所(平成15年 工学研究科生物工学専攻博士号取得)
向井 裕人 パナソニック株式会社(平成16年 工学研究科情報通信工学専攻修了)
山崎 晃稔 米国Synopsys社日本法人(平成2年 理学部物理学科卒業)
竹内 奈央 総合生命科学部生命システム学科3年

【コーディネータ】 中村 暢宏 (総合生命科学部教授)

お問合せ・お申込

京都産業大学 学長室グローバル化推進室

E-mail: global-info@star.kyoto-su.ac.jp TEL: 075-705-3165

下記の内容をご記入の上、3月6日(木)までに、メールにて「グローバル・サイエンス・フォーラム参加希望」という件名でお申し込みください。

① 参加者氏名 ② 所属大学(学年/所属)または機関名 ③ 連絡先電話番号

主催：京都産業大学